



小さな芽

ぼくのお父さん

ぼくのお父さんは、いつも帰りがおそいです。だから、ほとんどいっしょに食事をすることはありません。お父さんは、ネオンをつくる仕事をしています。ネオンとは、デパートやビルの建物、おみせなどについています。夜は、めだつようにライトで光らせてあります。とりつける時は、高い所へ登ったりします。だからキケンがいっぱいです。去年はとくにいそがしいうえに、台風でかんばんやネオンがとんで、もっといそがしくなりました。何十人と仕事が入っているのに、よくこなせるなあと思いました。毎日朝早く仕事にいつて、夜おそく帰ってくるから、ぼくは体がきつくないかなあと思って心配です。でもお父さんは、ちゃんと休みの日に、どっか遊びにつれていってくれるので安心です。お父さんは、きつてもがんばって仕事をしています。ぼくも、お父さんみたいな大人になりたいです。

武蔵小4年3組 山田 英史

